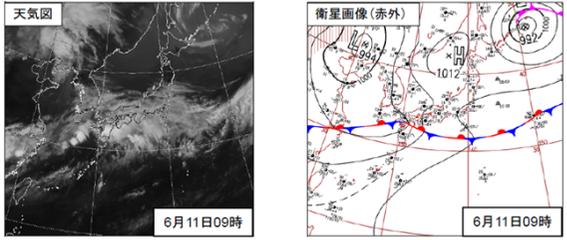
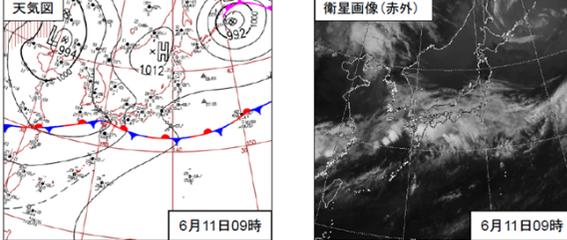


平成28年4月6日修正			
ページ	該当箇所	修正前	修正後
P4	(4)5月11日～5月13日：沖縄・奄美から東日本(大雨、暴風、高波、突風)＜低気圧、台風第6号＞	5月4日03時にカロリン諸島で発生した台風第6号は、11日から12日にかけて南西諸島付近を北東に進み、12日18時に種子島の東の海上で温帯低気圧に変わった。その後、13日にかけて、台風から変わった低気圧は、前線を伴って本州南岸を進み、三陸沖を通過して千島近海に達した。このため、全国的に雨が降り、南西諸島や四国地方、近畿地方、東海地方で日降水量100ミリを超える大雨となったところがあった。また、南西諸島から東日本にかけて、一部で暴風や強風となり、南西諸島では大しけとなった。	5月4日03時にカロリン諸島で発生した台風第6号は、11日から12日にかけて南西諸島付近を北東に進み、12日15時に種子島の東の海上で温帯低気圧に変わった。その後、13日にかけて、台風から変わった低気圧は、前線を伴って本州南岸を進み、三陸沖を通過して千島近海に達した。このため、全国的に雨が降り、南西諸島や四国地方、近畿地方、東海地方で日降水量100ミリを超える大雨となったところがあった。また、南西諸島から東日本にかけて、一部で暴風や強風となり、南西諸島では大しけとなった。
P7	(5)6月2日～7月26日：全国(大雨、暴風、高波、突風)＜梅雨前線、台風第9号、台風第11号、台風第12号、大気不安定＞	6月22日に梅雨前線が九州の南海上を北上し、23日から25日にかけて九州南部付近に停滞した。このため、九州南部の多いところで日降水量が300ミリを超える大雨となった。この大雨の影響で、鹿児島県を中心に土砂災害が発生したほか、道路の通行不能、鉄道の運休等の交通障害が生じた。(被害状況は、平成27年6月29日現在の国土交通省の情報による)	6月22日に梅雨前線が九州の南海上を北上し、23日から25日にかけて九州南部付近に停滞した。このため、九州南部の多いところで日降水量が300ミリを超える大雨となった。この大雨の影響で、鹿児島県を中心に土砂災害が発生したほか、道路の通行不能、鉄道の運休等の交通障害が生じた。(被害状況は、平成27年6月29日現在の国土交通省の情報による)
P15	(12)9月26日～9月29日：沖縄地方(大雨、暴風、高波)＜台風第21号＞	9月22日21時に沖ノ鳥島の南南東の海上で発生した台風第21号は、26日から27日にかけて沖縄の南の海上を北西に進んだ後、28日に非常に強い勢力で先島諸島に接近し、与那国島地方に最も近づいた同日夕方には猛烈な勢力となった。その後、台風は台湾に上陸し、引き続き西へ進んだ。この台風の影響で、沖縄県と那国町と那国島では、28日に最大瞬間風速81.1メートルを観測し、統計開始以来の1位の値を更新したほか、八重山地方を中心に猛烈な風が吹き、先島諸島ではうねりを伴い猛烈なしけ、沖縄本島地方でも大しけとなった。	9月22日21時に沖ノ鳥島の南南東の海上で発生した台風第21号は、26日から27日にかけて沖縄の南の海上を北西に進んだ後、28日に猛烈な勢力で先島諸島に接近した。その後、台風は台湾に上陸し、引き続き西へ進んだ。この台風の影響で、沖縄県と那国町と那国島では、28日に最大瞬間風速81.1メートルを観測し、統計開始以来の1位の値を更新したほか、八重山地方を中心に猛烈な風が吹き、先島諸島ではうねりを伴い猛烈なしけ、沖縄本島地方でも大しけとなった。

平成28年5月16日修正			
ページ	該当箇所	修正前	修正後
P13	(8)8月21日～8月26日：沖縄・奄美から東日本(大雨、暴風、高波、高潮)＜台風第15号、台風第16号＞	福岡県小倉南区空港北町(クコウキタマチ) 29.5 m/s 東北東 [07:19]	福岡県北九州市小倉南区空港北町(クコウキタマチ) 29.5 m/s 東北東 [07:19]
P16	(13)10月1日～10月3日：東日本から北日本(大雨、暴風、高波)＜低気圧＞	兵庫県中央区神戸空港(コウベクウコウ) 21.3 m/s 南南西 [22:43] 兵庫県中央区神戸空港(コウベクウコウ) 21.0 m/s 南南西 [00:42]	兵庫県神戸市中央区神戸空港(コウベクウコウ) 21.3 m/s 南南西 [22:43] 兵庫県神戸市中央区神戸空港(コウベクウコウ) 21.0 m/s 南南西 [00:42]
P16	(15)10月7日～10月9日：北日本(大雨、暴風、高波、高潮)＜台風第23号＞	北海道オホーツク海側 で 大雨となったところがあったほか、	北海道オホーツク海側で大雨となったところがあったほか、
P18	資料1-2-1 主な気象災害に対応する天気図、降水量分布図等 災害番号(5) 天気図等		
P37	資料2-2-1 平成27年(2015年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)の表中台風第15号の上陸、通過	23日19時頃、西表島付近を通過した。 25日04時過ぎ、鹿児島県阿久根市付近を通過した。 25日05時過ぎ、熊本県宇城市付近を通過した。 25日0時過ぎ、熊本県荒尾市付近に上陸した。	23日19時頃、西表島付近を通過した。 25日04時過ぎ、鹿児島県阿久根市付近を通過した。 25日05時過ぎ、熊本県宇城市付近を通過した。 25日0時過ぎ、熊本県荒尾市付近に上陸した。
P60	10月	低気圧の影響で北陸や北日本を中心に雨や雪、南西諸島や九州の南部は前線の影響で雨(29日～30日)	低気圧の影響で北陸や北日本を中心に雨や雪、南西諸島や九州の南部は前線の影響で雨(29日～31日)
P62	12月	5日は、日本付近は引き続き冬型となり、北陸や北日本を中心に雨や雪が降り、北陸で大雨となったところがあったほか、北海道の一部で強風となった。また、湿った空気の影響で、先島諸島の一部で雨が降った。日は、はじめ北日本付近で冬型となり、北海道で雪や雨が降った。また、対馬海峡に低気圧が発生して東へ進んだほか、本州南岸に複数の低気圧が発生して東へ進んだ。これらの低気圧や寒気の影響で、南西諸島から東北南部にかけて雨が降った。	5日は、日本付近は引き続き冬型となり、北陸や北日本を中心に雨や雪が降り、北陸で大雨となったところがあったほか、北海道の一部で強風となった。また、湿った空気の影響で、先島諸島の一部で雨が降った。